

# 令和4年度 地震・津波 総合防災訓練 (内閣府・北海道根室市)

## 実施報告書 (概要版)

### 北海道根室市について

根室市は、北海道の東端に位置し、太平洋に突き出した半島とその付け根に当たる部分からなりたち、その付け根部において浜中町・別海町と接している。市の中心部は、半島のほぼ中心にあり、地形に高低があり、街路はおおむね緩やかな坂をなしている。北東に紅煙岬が突出し、弁天島が西の海面に横たわり港門の役をなし、根室港を形成しており、オホーツク海を隔てて、国後島を指呼の間に望み、東は太平洋に面し、納沙布岬からは歯舞群島、色丹島が展望される。

太平洋側はチトモシリ、歯舞、友知、ユルリ、モユルリ島が点在し、マッカイヨウ岬、花咲岬、落石岬が南東に突き出し、それぞれ歯舞漁港、花咲港、落石漁港を形成し、船舶の停泊また漁船の避難港として重要な役割を占めると共に、冬期間も結氷をみず、沿岸沖合漁業の拠点として根室港と表裏をなしている。



出典：国土地理院

## 訓練概要

- 訓練想定：令和4年11月5日（土）、午前9時30分、根室半島南東沖を震源とする強い地震が発生し、根室市では震度6強を観測したという想定のもと、訓練を実施。
- 実施日時：【訓練実施前WS】令和4年10月4日（火）18:00～20:00  
 【訓練】 令和4年11月5日（土）9:00～12:00  
 【訓練実施後WS】令和5年2月2日（木）18:00～20:00
- 主催：根室市、内閣府
- 参加者数：約80名  
 訓練実施前WS：20名、訓練実施後WS：20名
- 参加機関：花咲港周辺企業、消防本部、根室警察署、根室警察花咲港派出所、根室海上保安部 その他、併催する日本赤十字社の訓練への参加者
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設、炊出し訓練ほか
- 訓練の特色：地区住民の間で取り決めていた避難所開設時の役割分担案の実証として開設訓練を行う他、住民のみならず、昼間人口である地域内立地企業の従事者の参加も促し、エリア全体で、役割や手順の確認とともに、共助の意識を高める。

## 訓練の成果

- 訓練参加者の約1/3が初めての参加となっており、今後の地区防災の機運向上のきっかけとしては十分な成果であったと言える。
- 津波避難訓練は、大半の参加者が津波到達想定時間内に避難を完了させたが、参加者自身の高齢化により避難時間が年々長くなっていることや身体的な辛さの指摘があり、防災活動を繰り返し行い検証を重ねる必要性が明らかになった。
- 避難所開設時の地区住民の役割分担等は、これまでは話し合い上の取り決めだったが、実動訓練を通じて手順等を確認できた。また、役割分担のさらなる細分化の必要性に気づくことができた。
- 同地区での訓練は、近年マンネリ化し参加者が減少していたが、今回の訓練の実施が、地区住民の活動意欲に再び薪をくべる形になり、今後の継続が重要である。
- 過去の訓練は温暖な時期に開催してきたが、今回11月に実施したことは、寒冷地としての津波避難対策の検討に非常に有意義であった。

### 【課題】

- 避難所備品には取扱説明書が付属しているものの、災害時に高齢の地区住民に急な対応を求めることは難しく、訓練の継続を通じて習熟しておく必要がある。
- 参加者の固定がマンネリ化の要因のひとつでもあり、今回は企業への呼びかけ等も行った。今後はさらに多様な企業を巻き込んで取り組む必要がある。
- 実際の災害時には、津波避難経路上での交通混雑も想定されることから、当地での津波避難計画で設定する避難経路は複数を検討すべきである。

令和4年10月4日（火） 18:00～20:00 訓練実施前ワークショップ

地区住民の多くが時間内に目標地点まで避難できるものにとらえられていると考えられることから、果たして“地域として”、“普遍的”に「大丈夫」なのか、今一度考える機会として実施した。

▼地区防災計画に関する講話  
（札幌市・早川直喜氏）



▼話し合いの様子



令和4年11月5日（土） 9:00～12:00 津波避難訓練・各種体験訓練等

地区住民は、シェイクアウト訓練の後、自宅最寄りの1次避難場所まで避難訓練を行った。

避難後は、避難所開設訓練行い、避難所備品は展示のみならず、有識者から具体的な使い方や留意点について指導を受けた。その他、婦人会による炊き出し訓練等を行った。

▼シェイクアウト訓練  
津波避難施設への避難訓練



▼避難所開設訓練



▼専門家による講話  
（北海道大学・谷岡勇市郎氏）



▼避難所備品の展示・説明



令和5年2月2日（木） 18:00～20:00 訓練実施後ワークショップ

訓練での気づきをもとに、地域としての課題感、そのうちすぐに取り組めるもの、ちょっと先の現実的な将来像、長期的な将来像を話し合う中で、次年度以降の具体的取組アイデア等も活発にかわされた。

▼訓練をふりかえる話し合い



▼専門家の講評

